

この一冊で、24年度の事業が分かる！

# 広報 あつぎ

## 特別号

編集・発行 / 厚木市 政策部 広報課  
〒243-8511 神奈川県厚木市中町3-17-17  
☎046-223-1511(代) ☎046-223-9951  
<http://www.city.atsugi.kanagawa.jp/>

ネットでも最新情報発信中！

笑顔輝くまち、あつぎ

特集・厚木市2012  
事業と予算のあらまし





## COVER

- にぎわい爆発  
あつぎ国際大道芸●

平成20年に始まった「あつぎ国際大道芸」。毎年30組以上のアーティストが街中でパフォーマンスを繰り広げ、市内外から10万人以上の観客が訪れる。こしは11月10日(土)、11日(日)の開催。

## みんなでつくりよう 元気なあつぎ



## 平成24年度 施政方針要約

# “原点”から、新たな

## CONTENTS

- 2 【施政方針】  
「“原点”から、  
新たな一歩を」  
厚木市長 小林常良
- 4 あつぎ元気プラン第2期  
実施計画スタート
- 6 平成24年度予算の  
あらまし
- 10 【クローズアップ・  
2012年度事業】
- 12 ①健康・福祉
- 13 ②子育て・教育
- 14 ③防災対策
- 15 【ピックアップ】  
市民協働
- 16 ④企業誘致
- 17 ⑤景気対策
- 18 ⑥都市基盤整備
- 19 ⑦再生可能エネルギー

**市**長就任当初から、私は「みんなでつくりよう元気なあつぎ」をスローガンに、常に初心を忘れることなく、市政運営にまい進してきました。改革と地方分権の視点から「参加と協働」をキーワードに、総合計画「あつぎ元気プラン」の策定や市民の皆さまと協働で制定した自治基本条例など、新しい地方自治の仕組みに積極的に取り組んできました。

昨年の東日本大震災や原子力発電所の事故は、私たちの生活の根幹を揺り動かす大きな出来事でした。このような中で、私は心の原点である「人の命の尊さ」「人と人とのふれあい」「家族のつながり」の大切さをあらためて実感しました。一人一人が「原点」から新しい一歩を歩み始めるとき、夢と希望が生まれると、私は信じています。

「原点」をしっかりと見つめ、厚木に住み、働き、学び、集う全ての皆さまが夢と希望をかなえ、明るく暮らすことができるよう、元気なあ

つぎを創造してまいります。

## 「あつぎ元気プラン」 第2期実施計画と 第5次行政改革がスタート

第9次総合計画「あつぎ元気プラン」の第2期実施計画は、第1期基本計画6年間の総仕上げとなる重要な計画です。施策評価などの結果を踏まえて総合的に検証するとともに現状と課題を再点検し、第1期基本計画の施策の達成目標以上の成果が得られるように策定しました。

「ひと」「まち」「くらし」に着目した「未来を担う人を育てる戦略」「持続ある都市の発展を進める戦略」「地域力を高める戦略」の3つの重点戦略を推進するため、横断的かつ多面的に取り組んでいきます。

第5次行政改革は、「組織のスリム化の実現」「市民との協働の推進」「強固で持続可能な経営基盤の確立」の3つの基本指針に基づき、実効性のある施策を進めます。限

市議会2月定例会の初日、小林常良市長は施政方針演説で、平成24年度の市政運営の考えや重点的に取り組む施策を表明しました。当初予算は「あつぎの元気協働予算」として編成し、総額1,261億9,435万7千円となりました。「元気あふれる創造性豊かな協働・交流都市あつぎ」を目指し、「経済活性化・企業誘致」「子育て・教育環境日本一」「徹底した行財政改革」の3大改革を推進していきます。

企画政策課 ☎225局2450

# 一步を

市長 小林常良



りある財源を有効に活用しながら、市民の皆さまと協働で市民サービスの向上を目指します。

## あつぎの元気協働予算

平成24年度の当初予算は、あつぎ元気プランの将来都市像「元気あふれる創造性豊かな協働・交流都市あつぎ」の実現に向け、市民と行政、市民と市民が手を携え、地域の触れ合いと信頼を深め、市民自治、協働のまちづくりを推進していくため、「あつぎの元気協働予算」として編成しました。

市民の皆さまと力を合わせて、夢と希望に満ちあふれた「県央の雄都」を創造し、3大改革である「経

済活性化・企業誘致」「子育て・教育環境日本一」「徹底した行財政改革」を確実に推進していきます。

## 5つの基本政策を推進

### 1 安心政策

誰もが安心して子どもを生子、健康やかな成長を実感できる施策を展開します。未来を担う子どもたちを社会全体で育てるため、「(仮称)子ども育成条例」の制定など「子育て環境日本一」を目指します。

健康で生きがいを感じながら、元気に暮らすことができるよう、健康づくり施策や医療環境の充実など健康長寿に向けた取り組みを積極的に推進します。

このほか、「(仮称)セーフコミュニティ推進条例」や「(仮称)自転車安全利用促進条例」を制定するとともに、地域防災計画を見直し災害対応の充実を図るなど、安心・安全なまちづくりを進めていきます。

### 2 成長政策

未来を担う人づくりのため、確かな学力を身に付ける教育の推進や多様化する教育的ニーズへの対応などを図り、「教育環境日本一」を目指します。

新たに35人以下学級を、小学校3年生まで拡大します。小・中学校の連続性を踏まえた学習活動をより効果的にするため、小学校高学年の教科担任制や小中一貫教育を推進します。

市民の皆さまの心豊かな生活を応援し、多様な文化芸術活動をより振興するため、「(仮称)文化振興条例」を制定します。

このほか、誰もが生涯にわたり気軽にスポーツに親しめるよう「一市民一スポーツ運動」を推進し、市民の皆さまの健康・体力づくりを支えていきます。

### 3 共生政策

環境負荷の少ない「環境推進都市」を目指し、住宅用太陽光発電システムや災害時などにも活用できる蓄電池の普及を促進します。

豊かな里山を将来にわたり保全できる環境づくりのために、「(仮称)里地里山保全促進条例」制定に向けた検討を進めていきます。

### 4 快適政策

中心市街地の活性化に向けて、中町第2-2地区周辺の整備や本厚木駅南口地区市街地再開発事業をはじめ、あらゆる世代の交流拠点になる施設「(仮称)あつぎ元気館」の整備などに取り組みます。新たなにぎわい拠点の創出や都市機能の向上に努めます。

中小企業の経営の安定や強化のため、円滑な金融支援や販路拡大支援を積極的に実施します。土地利用や都市基盤整備を着実に推進し、新たな産業用地の創出と企業誘致を進めます。

このほか、中心市街地の空店舗対策を実施するとともに魅力あるまちづくりを推進するため「(仮称)観光振興条例」を制定し、観光客の多様なニーズに即した施策を積極的に展開していきます。

### 5 信頼政策

協働による自治を着実に推進し、実行性のあるものとするため、市民協働のルールとして「(仮称)市民協働推進条例」を制定します。

市民自治を広げるには、市民の皆さまが地域において互いに触れ合い、理解し合うことが重要です。そのため、「ふれあい」を合言葉に「(仮称)地域ふれあい都市宣言」の宣言を目指していきます。

施政方針の全文は、市ホームページ、地区市民センター、中央図書館でご覧になれます。

# 「元気あふれる創造性豊かな協働・交流都市 あつぎ」を目指して

## あつぎ元気プラン 第2期実施計画が スタート

平成21年4月に始まった市の総合計画「あつぎ元気プラン」。将来都市像である「元気あふれる創造性豊かな協働・交流都市 あつぎ」を実現するため、23年度までを第1期実施計画として、さまざまな事業を実施してきました。これまでの3年間の成果を踏まえて策定した第2期実施計画が24年度から始まります。

第2期では、第1期の実施状況を検証し、社会経済状況の変化、市民ニーズなどを反映。今後は計画の目標達成に向け、市民の皆さんとの協働によるまちづくりを進めていきます。

☎企画政策課 ☎225局2455



### 総合計画とは

総合計画は、私たちの住む厚木市をどのようなまちにしていきたいのか、また、そのために何をしていくのかを、総合的・長期的な視点でまとめた市の最上位の計画です。

計画は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」の3層で構成されています。

#### ■基本構想

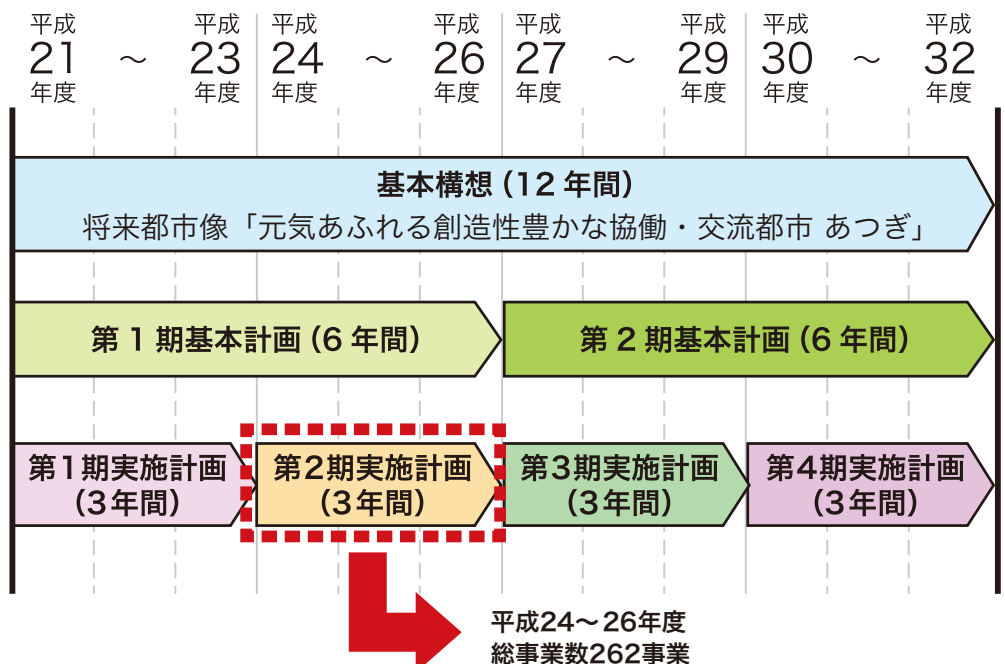
将来都市像と、これを実現するための5つのまちづくりの目標を定めています。

#### ■基本計画

基本構想で定めた5つのまちづくりの目標に基づき、5つの基本政策や29の基本施策などを体系別に定めています。

#### ■実施計画

基本計画で定めた29の基本施策の方針に基づき、具体的な事業を年度別に定めています。



## 社会経済状況の変化を踏まえて策定

第2期実施計画は、基本計画に定める「安心」「成長」「共生」「快適」「信頼」の5つの基本政策に基づき策定し、262事業を位置付けました。

持続可能な発展を続ける都市を目指すため、「ひと」「まち」「くらし」づくりに着目した3つの重点戦略や基本政策ごとに5つの重点目標を定め、事業の「選択と集中」に努めます。

特に、昨年の東日本大震災や電力供給不足などで社会経済状況が大きく変わったことも反映しました。防災対策の抜本的な見直しや再生可能エネルギーの活用、市民協働によるまちづくりなど、新たに8つの重点的な取り組みを定め、優先的に事業を進めていきます。

## 少ない費用で大きな効果を

平成26年度までの3年間の財政収支を推計し、計画を策定しました。

歳入は、国などの経済見通しや市内主要企業の決算動向などから緩やかに拡大すると見込んでいますが、引き続き、財源確保に努めます。

また、最少の費用で最大の効果を上げるよう、徹底した経費の削減に努めます。



# 平成24年度 予算の あらまし



平成24年度の予算は、市民の皆さんの「健康と暮らし」を守り、市民一人一人が明るく元気で幸せに暮らすことのできる「あつぎの元気協働予算」として編成しました。一般会計などの全ての会計を合計した予算総額は、1,261億9,435万7千円で、前年度と比較して11億3,031万3千円の減額(0.9%減)となります。

☎財政課 ☎225局2170

市の予算は、3つの会計に分類できます。

## 予 算

総額 1,261億9,435万7千円  
(前年度比0.9%減)

## 一 般 会 計

736億円 (前年度比6.7%減)

## 特 別 会 計

416億9,511万8千円  
(前年度比5.5%増)

## 公 営 企 業 会 計

108億9,923万9千円  
(前年度比23%増)

## 6つの特別会計

特別会計は、特定の歳入を特定の歳出に充て、それぞれの目的に応じて使う会計です。

### ①国民健康保険事業

243億9,000万円(前年度比3.8%増)  
国民健康保険料を主な財源に、被保険者が病気やけがなどをした場合の適切な療養の給付などを目的にしています。

### ②介護保険事業

91億6,900万円(前年度比9.1%増)  
介護保険料を主な財源に、被保険者が介護サービスを利用した場合の適切な介護の給付などを目的にしています。

### ③公共下水道事業

58億4,200万円(前年度比3.6%増)  
下水道使用料などで、下水道の建設や維持管理を目的にしています。

### ④後期高齢者医療事業

19億2,100万円(前年度比19.8%増)  
75歳以上の高齢者への医療給付などに必要な保険料の徴収などを目的にしています。

### ⑤公共用地取得事業

3億7,161万8千円(前年度比2.4%減)  
公共用地の先行取得を目的にしています。

### ⑥交通災害共済事業

150万円(前年度比91.2%減)  
交通事故に遭った人を救済するため、交通災害共済事業を目的にしています。  
(平成24年度で事業終了)

公営企業会計は、民間企業と同じように事業収入によって運営している事業の会計で、本市では病院事業が該当します。

### 【病院事業会計】

市立病院の運営や建設などを目的にしています。

#### ●収益的収支(前年度比)

収益 78億6,599万円(2%増)  
費用 80億3,219万円(4.3%増)

#### ●資本的収支(前年度比)

収入 27億7,546万8千円  
(187.1%増)  
支出 28億6,704万9千円  
(146.5%増)

※資本的収支の不足額9,158万1千円は、損益勘定留保資金で補てんします。

# 一般会計を 大解剖



## 一般会計って何？

一般会計とは、福祉や防災、道路、教育など市役所の基本的な仕事に関わる収入と支出を管理する会計です。

総額  
**736億円**

**【市税】 426億8,507万円**  
市民税や固定資産税、都市計画税など

**【諸収入】 44億9,729万円**  
預託金元金収入や雑収入など

**【使用料および手数料】 10億6,534万4千円**  
施設使用料や申請手数料など

**【繰越金】 8億円**  
前年度からの繰越金

**【繰入金】 4億6,988万3千円**  
基金からの繰入金

**【その他】 7億2,598万5千円**  
保育料などの負担金や財産収入、寄付金など

**※自主財源とは**

市が自主的に収入できる財源です。地方税、分担金および負担金、使用料および手数料など。歳入総額に占める自主財源の割合(自主財源比率)が高ければ高いほど、地方公共団体の自主性と安定性があることを示します。

**【国庫支出金】 100億9,632万9千円**  
使い道が特定されている国からの補助金など

**【市債】 50億4,219万2千円**  
公共事業の財源とするための長期借入金

**【県支出金】 36億5,724万5千円**  
使い道が特定されている県からの補助金など

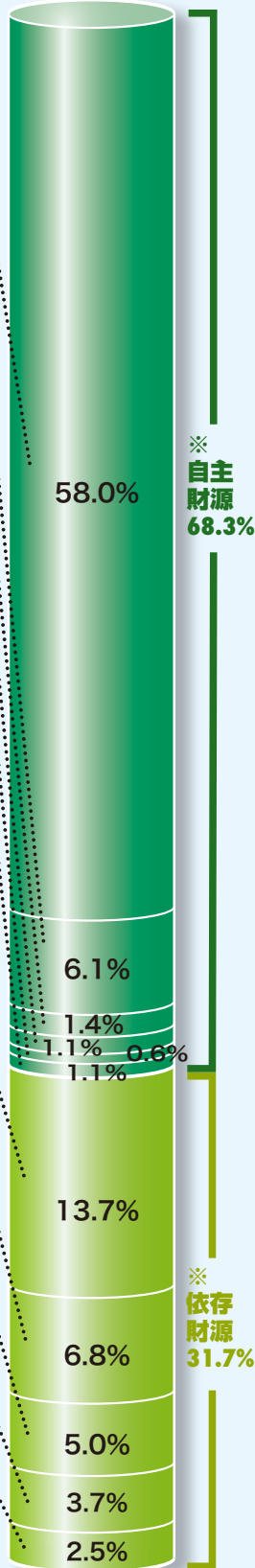
**【地方消費税交付金】 27億円**  
消費税のうち、地方分として市に配分されるもの

**【その他】 18億6,066万円2千円**  
地方譲与税や地方特例交付金など

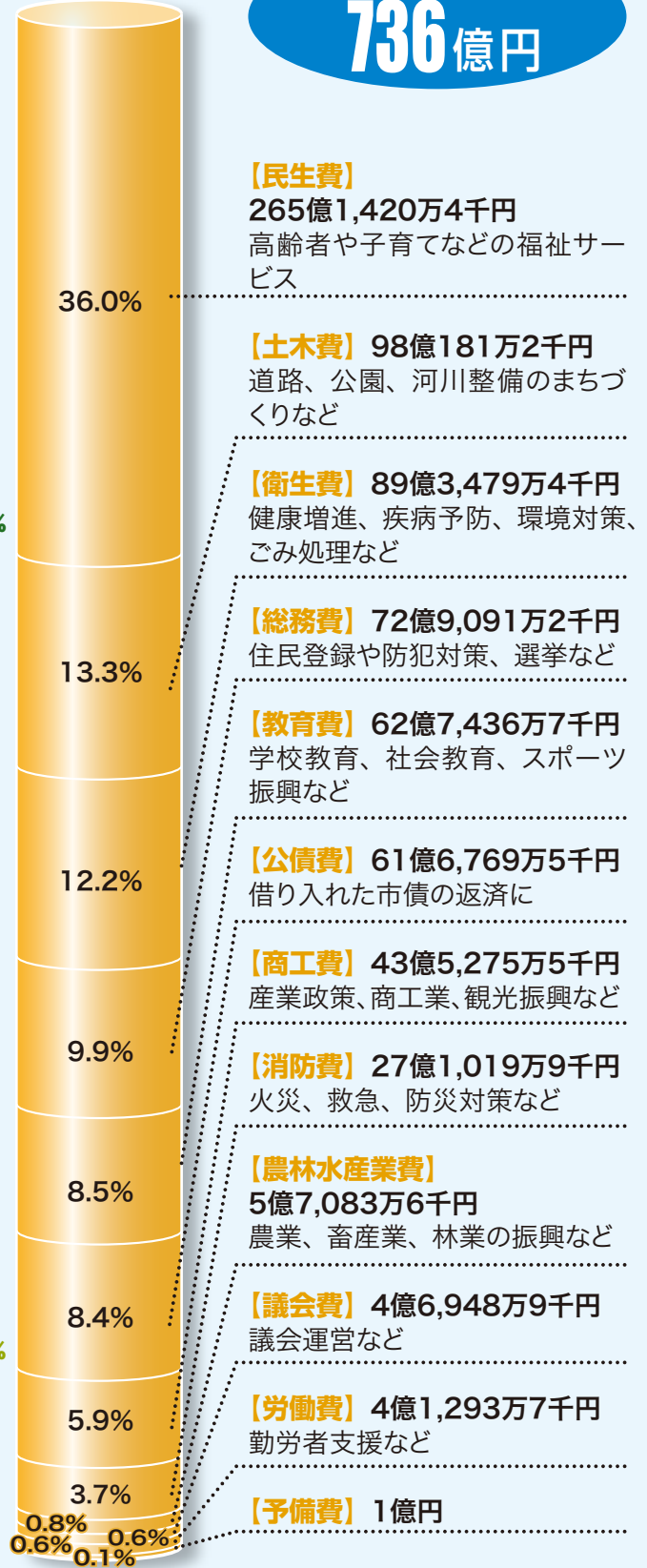
**※依存財源とは**

国や県などから交付される財源です。地方譲与税、地方交付税、国庫支出金、県支出金、地方債など。

### 【収入】



### 【支出】



# 【市税収入の内訳】



**市民税**：187億7,271万4千円

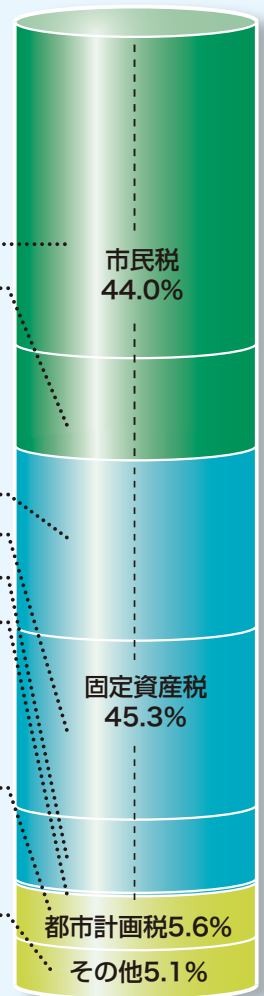
個人(33.4%) 142億4,349万6千円  
 法人(10.6%) 45億2,921万8千円

**固定資産税**：193億2,667万3千円

土地(18.7%) 79億9,198万2千円  
 家屋(18.6%) 79億3,362万2千円  
 償却資産(7.8%) 33億106万9千円  
 交付金(0.2%) 1億円

**都市計画税**：23億8,525万4千円

**その他(市たばこ税、軽自動車税、入湯税)**：  
 22億42万9千円



どんなことに  
使われているの

**【繰出金】** 61億2,607万2千円

会計間における資金の支出に要する経費

**【貸付金】** 38億3,450万円

地域住民の福祉増進や地域振興のための現金の貸し付けに要する経費

**【その他】** 12億7,178万3千円

維持補修費や基金への積立金、病院事業会計への出資金などに要する経費

**【公債費】** 61億6,769万5千円

公共事業などの財源として借り入れた市債の返済に要する経費

**【補助費等】**

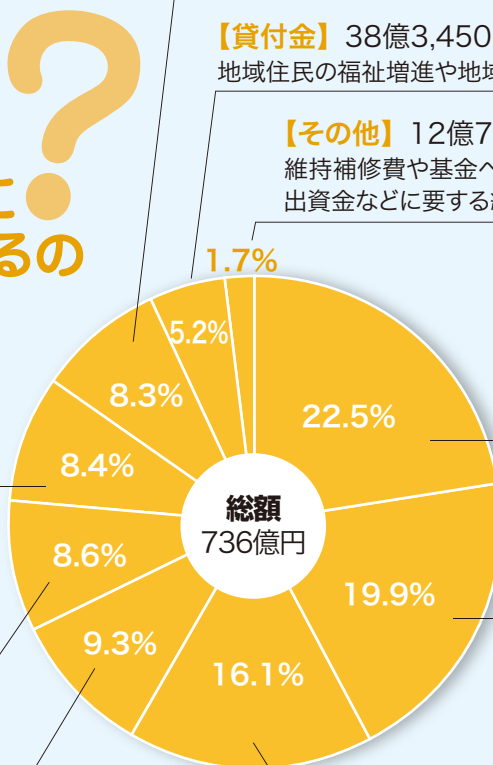
63億4,722万8千円

病院事業会計負担金や各種団体への運営補助金などに要する経費

**【普通建設事業費】**

68億4,794万6千円

道路や公園などの公共施設の建設・改良工事などに要する経費



**【扶助費】** 165億1,809万5千円

子ども手当や生活保護費など、福祉のために要する経費

**【人件費】** 146億5,903万2千円

職員の給料や議員の報酬などに要する経費

**【物件費】** 118億2,764万9千円

公共施設の施設運営費や消耗品など、市の事務に要する経費



# 【一般会計の市民1人当たりの金額】

歳出予算額を市民1人当たりに換算した使い道(目的別)の内訳は、次のとおりです。

**328,088円**

【民生費】	福祉充実のために	118,193円 36.0%
【土木費】	道路、公園、河川整備のために	43,694円 13.3%
【衛生費】	保健衛生、ごみ収集、環境対策のために	39,829円 12.2%
【総務費】	住民登録や防犯などの安心安全対策のために	32,501円 9.9%
【教育費】	学校教育、社会教育、スポーツ、文化財保護のために	27,969円 8.5%
【公債費】	借入金返済のために	27,494円 8.4%
【商工費】	産業政策、商工業や観光の振興のために	19,403円 5.9%
【消防費】	火災・救急、防災対策のために	12,081円 3.7%
【農林水産費】	農業や林業の振興、鳥獣対策のために	2,544円 0.8%
【議会費】	議会運営のために	2,093円 0.6%
【労働費】	勤労者対策のために	1,841円 0.6%
【予備費】	その他	446円 0.1%



※人口224,330人  
平成24年1月1日現在を基準に算出

## 貯金と借金

### 【貯金 = 基金】

年度間の財源調整のため、財政調整基金のほか公共施設の建設や教育、文化振興、災害対策など特定の目的のため、将来に備え積み立てている資金です。

### <基金の合計額>

46億2,502万4千円  
(平成24年度末見込み額)

### 【借金 = 市債】

長期にわたって使用する学校や道路などの公共施設の建設のために市債(長期借入)を発行しています。  
※平成23年度末の市債残高(512億円)との比較で2億円減

### <市債の残高>

510億8,546万7千円  
(平成24年度末見込み額)



## 全国自治体ランキング

厚木市は、先進的な行政運営と災害対応力が全国の自治体を対象にした調査で高い評価を得ました。

経営革新度

全国809市区中 **2位** (県内1位)

自治体燃の災害対応力

全国289市区中 **6位** (県内1位)

※日本経済新聞社発行「日経グローバル」による調査

**健康・福祉**

地域医療を担う高機能な病院へ

**市立病院建設事業**

予算 8,342万円(出資金)／経営管理課



完成イメージ

新病院は、平成24年夏の着工を予定しています。現在の医療機能を維持しながら高度医療の中核となる部分を優先して整備を進め、26年4月には医療機能の70%が完成、稼働します。28年9月に高機能な病院として全面オープンする予定です。※建設事業の総額は5年間で102億5,444万円です。

**子育て・教育**

誰もが子育てしやすい社会を目指して

**認定こども園推進事業**

予算 1,305万円／こども育成課



重点項目でまちを元気に

**発展し続ける**

**防災対策**

災害に強い都市へ

**大型防災備蓄倉庫設置事業**

予算 5,536万7千円／危機管理課

いつ起こるか分からない大規模災害に備え、広域・指定避難場所にもなっている荻野運動公園に約300㎡の大型防災備蓄倉庫を新設します。倉庫には毛布や食料、おむつなどの日用品を備蓄し、防災機能の強化を図ります。



将来にわたる厚木市の発展を視野にした実施事業を紹介します。市民の皆さんを巻き込み、希望に満ちあふれた都市を





## 都市基盤整備



厚木の元気が集う場所に

### (仮称)あつぎ元気館整備事業

予算 9億8,759万6千円／中心市街地整備課

「待機児童ゼロ戦略」の一つとして、幼稚園型認定こども園の設置者に運営費を補助。同時に認定こども園で長時間保育を利用する保育に欠ける児童の保護者に、経済的負担を軽減するため助成金を支給します。

#### <幼稚園型認定こども園>

厚木田園幼稚園、厚木緑ヶ丘幼稚園、えいすう幼稚園、はやし幼稚園

子どもから高齢者まであらゆる世代が交流でき、文化・芸術・生涯学習などの拠点となる施設や商業施設などからなる「(仮称)あつぎ元気館」の整備をスタート。心ときめく厚木の新たな顔を目指します。24年度は土地・建物の買収と基本設計に着手します。



# 都市を目指して

入れ、重点項目として選び抜かれ  
さんと共に効率的・効果的に事業  
つくっていきます。

### 市民と進めるまちづくり 10の条例と1つの都市宣言

暴力団排除条例(23年12月制定済み)

24年度制定予定

セーフコミュニティ推進条例、市民協働推進条例、観光振興条例、文化振興条例、子ども育成条例、公契約条例、自転車安全利用促進条例、住民投票条例

25年度制定予定

里地里山保全促進条例

地域ふれあい都市宣言

<暴力団排除条例以外の名称は全て仮称です>

## 再生可能エネルギー



持続可能なまちを目指して

### 再生可能エネルギー導入促進事業

予算 3,700万円／環境総務課



エネルギーの地産地消を推進する「(仮称)あつぎ元気地域エネルギー構想」を策定します。公共施設や遊休地への太陽光発電などの、再生可能エネルギー導入調査を実施。メガソーラー発電事業の誘致など、地域分散型エネルギーの創出に取り組んでいきます。

早期発見・早期治療を

## がん検診事業

予算 3億1,123万3千円  
健康づくり課

6種類のがんについて、集団検診と個別に受診できる施設検診を実施します。特定のがん検診では、該当年齢の方を対象に無料で受けられるクーポン券を発行。昨年からはじめた胃がんの施設検診も継続します。受診率の向上と早期発見で、市民の皆さんの健康増進を図ります。



# 生き生きと笑顔が絶えない健康都市に

## ① 健康・福祉

【予算】  
88億  
7,262万2千円

少子高齢化が進む現在、福祉の充実がまちの元気につながります。全ての方が生き生きと毎日を過ごせるよう、「生涯現役・生涯健康都市」の実現に向けた事業を展開します。



壮年期の健康をサポート

## 健康診査事業

予算 1億2,157万9千円  
健康づくり課



40歳以上の方を対象とした肝炎ウイルス検診を実施。特定健診・長寿健診には必要に応じて心電図、眼底検査などを追加します。よりきめの細かい検査で、壮年期からの健康管理をサポートします。

## 高齢者バス割引乗車券購入費助成事業

予算 7,901万7千円  
高齢福祉課

高齢者の充実した毎日を支えるため、70歳以上の方を対象に神奈川中央交通の割引乗車券「かなちゃん手形」の購入に7,000円を助成。気軽に外出できる環境を整えます。

## 高齢者予防接種事業

予算 7,949万6千円  
健康づくり課

感染予防や健康増進のため、インフルエンザ予防接種の実施と肺炎球菌ワクチン接種の費用を一部助成。接種率を高め、高齢者の皆さんの感染予防に努めます。

## 障害者日中活動支援事業

予算 10億220万4千円  
障がい福祉課

障がい者が日中活動のサービスを利用する際の費用や、介護者の緊急時に施設を一時利用する費用を負担。障がい者が快適に毎日を過ごせる環境づくりに努めます。



保育サービスの向上を

## 認定あつぎ保育室補助金

予算 1億3,707万6千円

保育課

私設の保育施設で一定の基準を満たすものを「認定あつぎ保育室」とし、運営費などを補助。24年度から保育室を12カ所に増やし、入所児童のさらなる福祉の向上を図ります。



## (仮称)健康こどもの森 整備事業

予算 1,501万1千円

公園緑地課

遊んで学んで元気になれる自然体験活動の拠点として、さまざまな野外活動が体験できる子どもたちの遊び場を提供。24年度は事業の実施に向けた設計に着手します。

# 子どもたちの 健やかな成長のために

「子育て環境日本一」と「教育環境日本一」の実現に向け、さまざまな事業を実施。誰もが子どもを生き育てやすい環境を整え、いつも親子の笑顔があふれるまちを目指します。

②  
子育て・教育

【予算】  
117億  
6,268万6千円



## (仮称)収蔵資料館建設事業

予算 600万円

文化財保護課

郷土の歴史や自然が学べる展示や貴重な資料の保存で、地域文化を盛り上げる「(仮称)収蔵資料館」を建設。24年度は建設予定地の測量などを実施します。



児童の健やかな成長を応援

## 留守家庭児童クラブ運営事業

予算 2億1,268万2千円

こども育成課

## 子ども医療費助成経費

予算 8億8,543万8千円

こども家庭課

0歳児から中学校を卒業するまでの子どもを対象に、入・通院に掛かる健康保険適用医療費の自己負担分を全額助成。安心して育児ができる環境を整えます。

保護者の仕事や病気などにより放課後に帰宅しても適切な保護が受けられない児童(小学1～3年生)を対象に、留守家庭児童クラブを運営。集団生活、遊び場を提供し、児童の健全な育成を図ります。





災害時は情報の共有を

## 災害情報の集約発信強化事業

予算 4,707万9千円  
危機管理課

災害時に正確で確実な情報を発信するため、防災行政無線の子局を新設(市内10カ所)するほかテレビ神奈川のデータ放送活用、公民館用車両へのスピーカー設置などを実施。市民の皆さんが情報を共有できるよう、情報発信力を高めていきます。



# 災害による被害を最小限に

3

## 防災対策

【予算】  
4億  
2,247万2千円

東日本大震災を踏まえ、防災・減災対策を強化。災害に強い都市を目指し、今後発生が予想される大規模地震や風水害などの自然災害に備えます。



## 消防庁舎整備事業

予算 3,077万8千円  
消防総務課

燃料の備蓄体制を強化するため、北消防署内に緊急車両用の給油所を設置。消防本部や相川分署の施設改修なども含め、消防庁舎の機能維持を図ります。



## 救急隊整備事業

予算 3,310万2千円  
消防総務課

25年度からの救急隊の増隊に向け、高規格救急自動車や機材を整備。高齢社会の進展による救急需要の増加にも対応できる体制を整えます。



井戸の利用で飲料水を確保

## 災害時活用可能常用井戸設置事業

予算 3,800万円  
危機管理課



大規模災害時、荻野運動公園内にある井戸を利用し飲料水をくみ上げられるように非常用電源や給水用の蛇口を整備。高度処理した地下水は平常時、公園内のプールや競技場内で使用します。



## 消防団活性化事業

予算 70万2千円  
消防総務課

地域防災を担う消防団。減少傾向にある団員を支えるため、消防団OBからなる大規模災害サポート隊を組織し、地域の消防体制を強化します。

PICK UP

# 市民がまちづくりの主人公

市民協働

【予算】  
1億1,309万9千円



これからのまちづくりの鍵となる「協働」。平成22年に制定された自治基本条例に基づき、市民の皆さんと協働の機会を増やし元気なまちづくりを進めていきます。

環境総務課 ..... 予算 200万円

新規

## 里山里山保全促進事業

### 守ろう、大事な自然

里山保全活動を進める団体などと連携し、ボランティア活動を通じて継続的な里山の機能維持と

回復を図ります。24年度は実行委員会を設置し、推進体制を構築。素晴らしい自然を未来に残せるよう、自然環境と共生したまちづくりを進めます。



企画政策課

新規

(仮称)  
地域ふれあい都市宣言推進事業  
..... 予算 94万円

「ふれあい」をテーマに協議会やフォーラムを開催。市民の皆さんと共に25年度中の宣言を目指します。市民相互の触れ合いや交流を深めることは、地域の充実につながります。

河川ふれあい課

新規

## 河川保全・再生事業

..... 予算 500万円

自然豊かな環境を生態系に配慮しながら保全するとともに、河川に親しむことができる環境を整備。市民や河川管理者と協働し、良好な河川環境の再生に取り組みます。

市民協働推進課 ..... 予算 395万5千円

拡充

## 市民協働推進事業

### 協働で地域の課題を解決

協働による自治を進めるため「(仮称)市民協働推進条例」を制定し

ます。市民活動団体と市が協働で課題を解決する「市民協働事業提案制度」も実施。24年度は6つの事業を展開していきます。



セーフコミュニティ推進課

新規

## 地域安全マップ作成事業

..... 予算 40万円

セーフコミュニティ活動の一つとして、地域の実情を把握した「地域安全マップ」の作成を支援します。





産業の活性化でにぎわうまちに

## 企業立地元気アップ サポート事業

予算 5,727万8千円  
産業振興課

新規企業の進出や市内企業の事業拡大を図るため、一定要件を満たした企業などを対象に4つの奨励金を交付します。市の企業立地の優位性を全国にPRするフォーラムも開催します。積極的な企業誘致活動を展開し、市民の皆さんに対する雇用機会の確保と産業の活性化に努めます。



# 元気な企業が集うまちへ



市内への企業進出を促進するための事業を積極的に展開。市内中小企業などへの優遇措置や経営強化の支援などを実施し、企業が新たに進出しやすい環境を整えます。



## ものづくり企業ブラン ディング事業 (緊急雇用)

予算 500万円  
産業振興課

市内企業の優れた技術やサービスを広く発信。「ものづくり企業」の情報を集めた冊子を作成してPRに努め、企業のブランド力アップと販路開拓、人材獲得などにつなげます。



## まちづくり基本調査事業

予算 4,513万5千円  
土地利用推進課

南部産業拠点地区の整備方針を作成。経済活性化に向け、都市の健全な発展と秩序ある基盤整備を目指します。



技術、製品の保護で競争力を

## 特許等出願支援補助金

予算 100万円  
産業振興課



市内の中小企業などに対し、国内における産業財産権取得に要する費用の一部を補助。中小企業の負担を減らすとともに、オンリーワン技術や新製品を保護し、新たな製品を生む研究開発の推進と市場での競争力強化を支援します。



## 中小企業設備投資 促進事業補助金

予算 1,000万円  
産業振興課

製造業を営む中小企業を対象に、設備投資に掛かった費用を一部補助。市場での競争力の強化と、経営基盤の安定・体質強化を図ります。





にぎわいのある市街地へ

## 中心市街地商店街空店舗 対策事業補助金

予算 3,055万1千円  
商業にぎわい課

いつでも活気とにぎわいがある中心市街地を目指し、本厚木駅周辺100㏍内にある空き店舗への対策を実施。新たに小売業、飲食業などを始める事業者に対して改装費や家賃を補助し、新規店舗が参入しやすい環境づくりに努めます。

## 中小企業融資事業補助金

予算 3億1,300万円  
産業振興課

市内中小企業の健全な経営を支援。市融資制度などの利用者に、金融機関に支払った利子や県信用保証協会に支払った保証料の一部を補助します。

## 放置自転車追放誘導事業 (緊急雇用)

予算 1,200万円  
くらし安全課

本厚木駅周辺の放置自転車を防止するため、自転車放置禁止区域外での啓発、誘導や市営駐輪場周辺における整理、案内業務に当たる人の雇用を創出します。



## ニホンザル追い払い事業 (緊急雇用)

予算 2,100万円  
農業振興課

生活・農作物被害の軽減を図るため、ニホンザルなどの野生動物が人里に出没しないよう、追い払いに当たる人の雇用を生み出します。

# 市街地、中小企業の発展を

まちを元気にするためには、まちを支えるさまざまな企業の活性化が欠かせません。市内企業に対する融資や補助金などの制度を整え、活気あふれる産業のまちを目指します。



健全な経営をバックアップ

## 中小企業融資制度預託金

予算 35億円  
産業振興課

特定金融機関に一定の資金を無利子で預託することで、低金利・固定での融資を実現。資金の円滑化をバックアップし、市内で活躍する中小企業の経営の安定と強化につなげていきます。



# 未来に向け 都市の基盤を整備

## 6 中心市街地などの 都市基盤整備

【予算】  
33億  
7,181万4千円

中心市街地の活性化やにぎわい創出を図るために、未来に向けた都市基盤を整備。計画的、合理的な土地利用などに取り組みます。



都市の機能を集約

### 中町第2-2地区周辺整備事業

予算 1億3,652万4千円  
中心市街地整備課

中町第2-2地区周辺(バスセンター周辺)の約4.5㍍を段階的に整備。文化・芸術や商業、福祉など都市機能が集まる地域を目指し、民間資本を活用した官民協働事業に取り組む事業協力者を募集します。



複合的な都市機能の整備

### 本厚木駅南口地区市街地再開発事業

予算 1,152万8千円  
中心市街地整備課

本厚木駅南口地区約0.5㍍の再開発を推進。再開発準備組合の活動支援などを行ない、魅力ある南口のまちづくりを進めます。



### 本厚木駅西側整備事業

予算 300万円  
中心市街地整備課

利便性の高い魅力ある駅周辺のまちづくりを進めるため、本厚木駅西側周辺において民間資本を活用した事業化について調査・検討します。

### (仮称)戸室ハイツ建設事業

予算 7億6,828万円(継続費)  
住宅課

住宅に困窮している低所得者などへの供給を目的に、市営住宅「(仮称)戸室ハイツ」(総戸数70戸)を建設。25年3月に完成する予定です。



### 都市サイン計画事業

予算 500万円  
都市計画課

案内、誘導などの公共サインや道路構造物、道路占用物のガイドラインを策定。人に優しく景観に配慮した、快適な道路景観づくりに努めます。





## 温暖化防止推進事業

予算 4,610万円  
環境総務課

住宅用太陽光発電システム設置補助金や電気自動車購入奨励金に加え、家庭用蓄電池購入奨励金の交付を開始。家庭における温室効果ガスの削減を図り、地球環境への負荷の少ない低炭素社会の実現を目指します。



# 今こそ、環境に優しい社会を

昨年の震災以降、太陽光をはじめとする再生可能エネルギーが注目されています。地球温暖化防止とエネルギーの地産地消を目指し、地球に優しいエネルギーの普及拡大に努めます。

7  
**再生可能エネルギー**

【予算】  
9,201万9千円

## 低公害車両導入事業

予算 412万4千円  
財産管理課

温室効果ガスの削減を図るため、市では現在8台の低公害車(電気自動車、天然ガス自動車)を導入しています。25・26年度にも1台ずつ導入する予定です。

まだまだあるよ!



## さらに充実! 市の事業

7つの重点項目に入らない、その他の重要な事業を紹介。

### 市営中町2丁目自転車等 駐車場整備事業

予算 1億4,163万円(継続費)  
くらし安全課

地上3階建て、収容台数1,535台を誇る自転車専用駐車場が7月1日にオープン。一時駐車はパスモでの利用もできます。



完成イメージ

### マイホーム取得助成事業

予算 9,372万円  
住宅課

定住促進を図るため、市内で新たに住宅を取得し一定の交付要件を満たした方を対象に助成金を交付。年末住宅ローン残高の1% (上限12万円) を3年間助成します。

### 環境センター施設改修事業 (継続費)

予算 17億6,603万5千円  
環境事業課

安全で継続的に使用できる施設とするため、ごみ焼却施設と粗大ごみ処理施設を改修。24年度に完成します。

### ごみ減量化・資源化 推進事業

予算 8億6031万9千円  
環境総務課

循環型社会の形成に向け、ごみの減量化・資源化を進めます。24年度は、資源化率32%を目指します。

#### <申し込み>

平成24年4月16日～12月17日

※住所を新居に移してから6カ月以内にお申し込みください。

「外国語指導助手」の授業は、小・中学生たちに大人気。教科書だけでなく歌やゲームなどを取り入れて、子どもたちは楽しみながら本場の英語に触れています。

小・中学校の図書室では、「子どもブックライフサポーター」が子どもたちの読書を応援しています。ここなら、みんなのお気に入りの一冊がきっと見つかるはず。

英語って、楽しいね。



森の里小学校

ちょっとドキドキ、だから本が好き。



上依知小学校

笑顔あふれる子どもたち。瞳の奥では好奇心が輝いています。教育の原点は、人と人とのふれあいです。教育委員会では、小・中学生が学習に理解を深め、さまざまな学びに興味を持つことができるよう、専門的な知識や技術を持つ人材を学校に派

## 笑顔の学校、 第2期厚木市教育充実プラン 始まります。

遣っています。平成24年4月1日から3カ年の計画で、第2期教育充実プランがスタートします。教育委員会では、家庭・学校・地域社会と協働し「未来を担う人づくり」の実現に向けた取り組みを進めていきます。

☎教育総務課 ☎225局2600

部活に青春、かけてます。



小鮎中学校

いつも、すぐそこに、先生が。



厚木小学校

中学校の部活動を熱心にサポートするのは、「部活動指導協力者」の皆さん。専門的な知識による本格的な指導が、生徒たちのヤル気と可能性を引き出します。

35人以下の少人数学級を小学3年生まで実施。子どもたち一人一人の顔がよく見える教室で、先生たちは個性に応じたきめの細かい指導に当たっています。